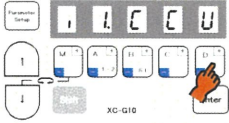


1 5. カウンタ機能の設定例

(1) アップカウンタを生産枚数カウンタ(100枚でカウント終了)として使用する場合

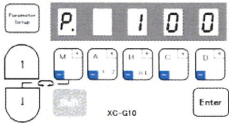
- 1) 1回系切りするごとに現在のアップカウンタ値[U]が1加算されます。
- 2) 現在のアップカウンタ値[U]がアップカウンタ値[P]に達したら次の縫製を禁止します。
- 3) [C] モード機能選択で設定した外部入力I1をONすることにより、現在のアップカウンタ値[U]が0になり、次の縫製が可能となります。

- ① プログラムモード [C] の機能 [I1] を呼び出す。
 (モード呼び出しでも直接番号呼び出し[357]でも可能。
 P. 17~20 参照)

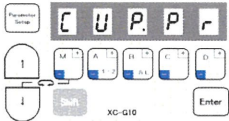
- ② 

- ③ 機能 [I1] 設定を確定する
 モード呼び出しの場合 : [↓] + [↑]
 直接番号呼び出しの場合 : Enter で確定。

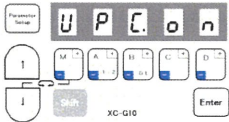
- ④ プログラムモード [B] の機能 [P] を呼び出す。
 (モード呼び出しでも直接番号呼び出し[203]でも可能。
 P. 17~20 参照)

- ⑤ 

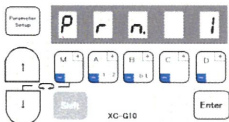
- ⑥ プログラムモード [B] の機能 [CUP] を呼び出す。
 モード呼び出しの場合 : [↓]
 直接番号呼び出しの場合 : Enter で確定後に番号[205]選択し
Enter

- ⑦ 

- ⑧ プログラムモード [B] の機能 [UPC] を呼び出す。
 モード呼び出しの場合 : [↓]
 直接番号呼び出しの場合 : Enter で確定後に番号[208]選択し
Enter

- ⑨ 

- ⑩ プログラムモード [B] の機能 [PRN] を呼び出す。
 モード呼び出しの場合 : [↓]
 直接番号呼び出しの場合 : Enter で確定後に番号[216]選択し
Enter

- ⑪ 

- ⑫ 通常モードにする
 モード呼び出しの場合 : [↓] + [↑]
 直接番号呼び出しの場合 : Enter で確定後 Parameter Setup

(注意) 操作箱のPキーでアップカウンタクリアができます。
 (操作箱のPキーは、出荷時アップカウンタクリア信号に設定されています。)

説明

[C] モード機能選択

[I1, CCU] : 外部入力I1をアップカウンタクリア信号[CCU]に設定にします。

[B] モード機能選択

[P, 100] : アップカウンタ値を設定します。ここで設定した値がアップカウンタの目標値となります。

※ [U, 0] : 現在のアップカウンタ値です

[CUP, PR] : [PRN] で設定した回数だけ糸切りを行うごとに、アップカウンタを1加算します。

(この例では、[PRN] = 1 ですので糸切り1回でアップカウンタを1加算します)

※ [USC, ST] : 現在のアップカウンタ値[U]がアップカウンタ値[P]に達したら、次の縫製を禁止します。

[C] モード機能選択で設定した外部入力I1をONすることにより、次の縫製が可能となります。

[UPC, ON] : アップカウンタが有効になります。アップカウンタを使用する場合はONにしてください。

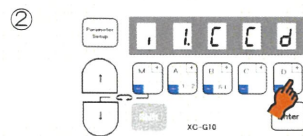
[PRN, 1] : 1回糸切りするごとにカウントする設定にします。

※については初期設定値です。

(2) ダウンカウンタを下系残量カウンタ(10000針でカウント終了)として使用する場合

- 1) 10針縫製するごとに現在のダウンカウンタ値 [D] が1減算されます。
- 2) 現在のダウンカウンタ [D] が0になったら、糸切り後の縫製を禁止します(糸切りを行うまでは縫製可能)。
- 3) [C] モード機能選択で設定した外部スイッチ I 1 をONすることにより、現在のダウンカウンタ値 [D] の値が、ダウンカウンタ値 [N] の値になり次の縫製が可能となります。

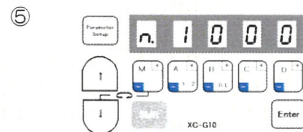
- ① **プログラムモード [C] の機能 [I 1] を呼び出す。**
 (モード呼び出しでも直接番号呼び出し[357]でも可能。
 P. 17~20 参照)



* [D] キーを押して、設定値を [CCD] にする。

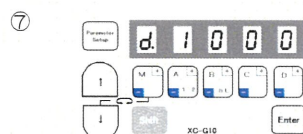
- ③ **機能 [I 1] 設定を確定する**
 モード呼び出しの場合 : [↓] + [↑]
 直接番号呼び出しの場合 : **Enter** で確定。

- ④ **プログラムモード [B] の機能 [N] を呼び出す。**
 (モード呼び出しでも直接番号呼び出し[201]でも可能。
 P. 17~20 参照)



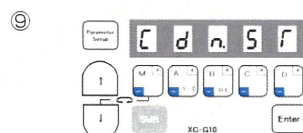
* [A] ~ [D] キーを押して、設定値を [1000] にする。

- ⑥ **プログラムモード [B] の機能 [D] を呼び出す。**
 モード呼び出しの場合 : [↓]
 直接番号呼び出しの場合 : **Enter** で確定後に番号[202]選択し
Enter



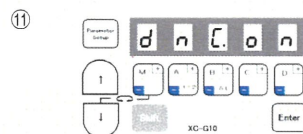
* [A] ~ [D] キーを押して、設定値を [1000] にする。

- ⑧ **プログラムモード [B] の機能 [CDN] を呼び出す。**
 モード呼び出しの場合 : [↓]
 直接番号呼び出しの場合 : **Enter** で確定後に番号[210]選択し
Enter



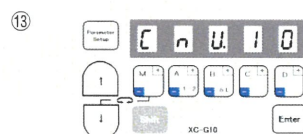
* [D] キーを押して、設定値を [ST] にする。

- ⑩ **プログラムモード [B] の機能 [DNC] を呼び出す。**
 モード呼び出しの場合 : [↓]
 直接番号呼び出しの場合 : **Enter** で確定後に番号[213]選択し
Enter



* [D] キーを押して、設定値を [ON] にする。

- ⑫ **プログラムモード [B] の機能 [CNU] を呼び出す。**
 モード呼び出しの場合 : [↓]
 直接番号呼び出しの場合 : **Enter** で確定後に番号[217]選択し
Enter



* [C] [D] キーを押して、設定値を [10] にする。

- ⑭ **通常モードにする**
 モード呼び出しの場合 : [↓] + [↑]
 直接番号呼び出しの場合 : **Enter** で確定後 **Parameter Setup**

注意 操作箱のPキーでダウンカウンタクリアを行いたい場合は下記の設定を行ってください。
 [C] モード機能選択
 [I P. CCD] : 操作箱のPキーをカウンタクリア信号 [CCD] 設定にします。

説明

[C] モード機能選択

[I 1. CCD] : 外部入力 I 1 をカウンタクリア信号 [CCD] 設定にします。

[B] モード機能選択

[N. 1000] : ダウンカウンタ値を設定します。ここで設定した値からダウンカウンタはカウント(減算)します。

[D. 1000] : 現在のダウンカウンタ値です。

[CDN. ST] : [CNU] で設定した回数針縫製するごとにダウンカウンタが1減算されます。(この例では、[CNU] = 10ですので10針縫製するごとにダウンカウンタが1減算されます。)

※ [DSC. ST] : 現在のダウンカウンタ [D] が0になったら、糸切り後の次の縫製を禁止します。[C] モード機能選択で設定した外部入力 I 1 をONすることにより、次の縫製が可能となります。

[DNC. ON] : ダウンカウンタが有効になります。ダウンカウンタを使用する場合はONにしてください。

[CNU. 10] : 10針縫うごとにカウントする設定にします。

※については初期設定値です。